光永くにやす通信

暑さの毎日、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。平素よりのご厚情に心より感謝申し上げます。また四月の熊本市議会議員選挙におきましては公私に亘り大変お世話になりました。あの怒涛の日々から三ヶ月あまりが経過しましたが、皆様方の力強いご支援により現在の市議としての活動の場を与えていただきましたことに改めて感謝申し上げます。本来ならば、お一人おひとり拝眉の上、御礼のご挨拶に伺うべきところですが一年生議員としての基盤作りに手間取っております。誠に申し訳ありません。まずは、非礼をお詫びしつつこの紙面をもちまして、これまでの活動の概要についてご報告致します。

市議としての足場固め

①所属する会派の決定

現在の熊本市議会には四十八名の議員がおりますが、いくつかの会派に分かれております。主要なものを紹介しますと自民党熊本市議団（十七名）、公明党熊本市議団（七名）、市民連合（九名）、くまもと未来（四名）、日本共産党熊本市議団（三名）、くまもと創生（二名）の他、一人会派と呼ばれるものが六会派あります。この中で自民党市議団の他くまもと未来とくまもと創生が保守系議員。市民連合は民主、維新、社民などの合同チームです。

私は最大会派である**「自由民主党市議団」**の門をたたき晴れて入団を認めていただきました。実はこの会派に所属することが議員活動の基礎となりまして、議員番号、議場における席順、控室などが決まります。私の議員番号は三番。議場における席は最前列の右から三番目です。議員控室は市役所議会棟の四階西側の部屋をいただきました。大部屋ですが、熊本城の眺望が素晴らしく是非ともお越しいただきたく思います。ちなみに議員番号の一番は議長、二番は副議長の指定番号で、四十二番は読みが不吉だということで欠番になっております。

②常任委員会への参加

定例議会は一年間に四回開催され、その議決によって熊本市の行政が進められていきますが、実質的には事前の委員会によって審議され決定されていきます。最大のものが市議全員で構成される予算決算委員会で、ここで最重要案件である予算の行方が決定されます。この他、総務、経済、教育市民、環境水道、厚生、都市整備の六つの常任委員会が設けられ、議員はどれか一つの常任委員会に所属し、深く関わる担当正面が決まります。私は**「環境水道委員会」**に参加することになりました。最大会派の強みはこれら委員会の全てに議員を配置できるだけでなく、その主要な委員長、副委員長ポストを確保していることです。すなわち市政全ての情報が入り、その決定に関わることができる訳です。その他にもいろいろな委員会がありますが、私は**「議会広報委員」**を命ぜられました。最大の仕事は皆様のお手元に届けられる「熊本市議会だより」の編集に関わっていくことです。

（裏面へ）

③議員連盟への参加

議会や委員会の他にも様々な活動の場がありますがそのひとつが議員連盟です。全てを紹介するのは大変なので私が所属するものだけご紹介します。

熊本市議会野球クラブ
熊本市市議会議員研修会
熊本市議会防衛議員連盟
国際交流熊本市議会議員連盟
熊本市議会Ｊロアッソ支援議員連盟
熊本市森林林業活性化議員連盟
熊本市議会
熊本ヴォルターズ支援議員連盟

以上七つ、「自民党会派はみんな入ってますよ」と言われたものには全て入りました。特に野球クラブは単なる応援団のつもりでしぶしぶ参加しましたがすぐにユニフォームの採寸があり驚いております。個人的にも熊本県自衛隊父兄会、熊本交響楽団、日独協会などの活動がありますので、できる範囲で頑張っていきたいと思います。

http://k-mitsunaga.net/
ホームページもあわせてご覧下さい。

④自由民主党への入党

自由民主党党員として正式に入党手続きを終えました。当初は、私個人の入党希望書を書いて出せば済むものと簡単に考えておりましたが実際は全く違うものでした。簡単に説明すると、私を長とする会員五十名の自民党支部を立ち上げ、全員の名簿と入党会費を納めることが最低の条件となっており、その他にも熊本市議三名からの推薦状と熊本市、熊本県それぞれの自民党会長の認可を得るというものでした。しかもこれは政治資金管理団体となりますので県の選挙管理委員会に届け出が必要です。いろいろと駆け回り、後援会の皆様にも大変ご面倒をおかけしましたが、無事全ての手続きを完了することができました。

自民党の組織から申し上げますと**「自由民主党熊本県第一選挙区支部」**（支部長：木原稔）の中の**「熊本県熊本市第十三支部」**（支部長：光永邦保）ということになります。支部の番号は空いている番号をいただいたようで、周囲の先輩議員が五十番台という中でかなり若い番号です。

「光永ゴルゴ十三」と覚えて下さい。

市議として最初の仕事

議員一年生として、最初の定例議会はまたたく間に終了しました。代表質問、一般質問におけるやり取りや議決までのよどみのない流れなど、大変貴重な経験を積むことができました。私は**自民党会派における安全保障問題の担当**となりましたので、共産党、市民連合などから出された「安保法制を廃案にすべき」という意見書について反対意見を述べ、これを**本会議において否決**することができました。今回の議会における私の唯一の仕事です。

安保法制については、その重要性を分かってもらえるように新聞への投稿や説明会に取り組んでいきます。

なお**九月議会には一般質問デビューする予定**です。改めてご案内致しますので是非とも傍聴にお越しください。

これからもどしどし活動内容を発信していきますので今後ともご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。（了）